

# 取材あれこれ ユニメモミニ



地域コミュニティ紙を発行して29年。編集会議での議論を経て編集方針、記事を決定、編集委員の取材活動が始まります。紙面を飾ることではない取材資料は山程あります。編集委員各自の裏話など一部を紹介します。

思い出、記憶に残る記事を掲載してきました。その中の表題の一部を紹介しました。

- 歴史と緑のまち「えび」探訪 “網を訪ねて”
- 第103号(平成21年11月) 名字と地名の成立ち
- 第107号(平成22年11月) 芝居劇場の思い出が残る 一葉中央町会会館
- 第110号(平成23年8月) 歴史を刻んで133年

- 草木も眠る丑三ツ時 第10号(昭和62年6月)
- お待たせー地区ユースです 第14号(昭和63年2月)
- 戸越屋敷と戸越公園 第20号(平成1年6月)
- ごさんじですか 補助26号線 第24号(平成2年3月)
- 碑文谷・立倉川・みどりの散歩道 第49号(平成8年4月)
- 臨海副都心線 大井町を經由全線完成を目指して 第51号(平成8年11月)
- 伊藤博文公別邸 ゆかりの地山口県 『萩市』へ移築 第59号(平成10年12月)
- 品川用水 第66・67号(平成12年12月)
- 荏原七福神めぐり 第79号(平成15年12月)
- 夢の大農園誕生 アイガー・デジ・豊町 第81号(平成16年6月)
- 第五こうしんおすめの 横須賀散策コース 第92号(平成19年3月)

○ みそは、ニッポン人の心なり。 第116号(平成25年3月)

伊藤博文公・別邸と墓所 伊藤博文公別邸 塚本 博良

この家をニコニコが明治44年に買い取った後に家族寮として、55年以降は社員の厚生施設「光友倶楽部」として使ってきました。 品川区総務課・区史編さん担当主査及び地域センター所長との編集打ち合わせを行いました。 平成23年10月、区長室にて贈呈を行いました。 古い和風建築物の保存について品川区に要請したが効果はありませんでした。 ゆかりの地、山口県萩市の教育委員会よりの申し出もあり、一部を移築することになりました。

貴重な歴史資料が豊富であることから平成10年7月解体工事が始まっているなか、毎日午前5時～7時の2時間、45日をかけて取材・調査を行いました。



景全屋母

撮影・調査 ・スタッフな 集積した多くの取材資料 と萩市教育委員会の提供を受け、毎日午前5時～7時の2時間、45日をかけて取材・調査を行いました。

伊藤博文夫妻墓所 (西大井6) 伊藤博文公別邸・ゆかりの地山口県萩市へ移得て、平成10年12月付で第59号「伊藤博文公別邸」特集号として発行しました。

伊藤博文公別邸・解体記録冊子 平成23年、濱野品川区長より別邸の解体記録冊子の作成について第五こうしん編集委員会に要請があり受けることにしました。 品川区総務課・区史編さん担当主査及び地域センター所長との編集打ち合わせを行いました。 平成23年10月、区長室にて贈呈を行いました。 古い和風建築物の保存について品川区に要請したが効果はありませんでした。 ゆかりの地、山口県萩市の教育委員会よりの申し出もあり、一部を移築することになりました。

## 富岡製糸場取材と

きゅうりの一本漬 小林 紀子

今年6月21日「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録が決定しました。

富岡製糸場の足元を伸ばすことになったり、かつて絹織物の取引があったといふので、正門の赤いポスト(子女達が故郷へ手紙を出した)、赤レンガの建物の正面のアーチの「明治5年の文字、昭和62年の創業停止時そのままの自動操糸機など、目に焼き付いています。当時、輸出品の主力であった生糸の生産アップをいかに目指していたかを物語っていました。この建物の土台を採石した所にあります。 墓所の広さは約3500㎡です。 中央正面に博文の円形墓、右隣りに一回り小さい同形の梅子夫人の円形墓が祀られています。

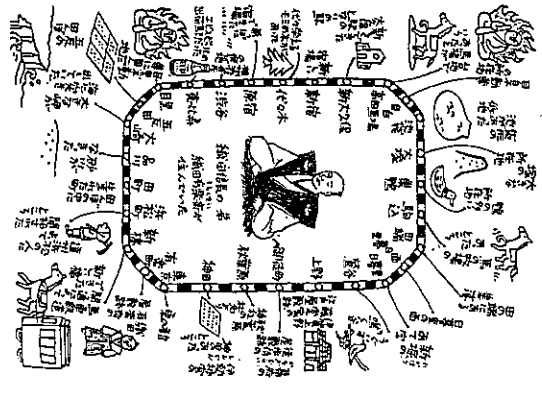


私にとって最初で最後の取材旅でした。このような取材活動費の捻出と「第五こうしん」のPRのために始めたのが地区まつりでの「きゅうりの一本漬」の販売でした。旅先のインスタで食べたときのおいしき、売れ行きがヒトでした。 揃いのTシャツで精を出し、かなり定着した所でした。7年も続いたのは何だったのか?第五こうしんの愛でようか?編集会議では、もっと議論ができればよかったです。 伊藤博文公別邸・解体記録冊子を残していました。

## 名字・地名の成立ち

107号・平成22年11月1日発行 小林 紀子

今年6月21日「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界文化遺産に登録が決定しました。私達が訪れたのは5年前、世界遺産として家系がどこまで調べられるかと、好奇心で学びました。ところが第五こうしん司会を北村さんと担当し、図書館通信いをしてたどついたので、山手線の駅名の由来でした。「山手線」氏・姓の編集が楽しく出来た事を誇りに思います。また、他の委員の方々にも協力していただき司会組の集大成でした。 今でも第五こうしんで学び活動した事を誇りにしたいです。生涯忘れません。



## みそは、ニッポン人の心なり。

119号・平成25年12月1日発行。司会は頼瀬・北村・小林の女性3名。私達は仙台台坂にある八木台名会社に何度足を運んだらうか?その都度八木代表の心あたたかな対応に感謝しました。そして自分達で味噌作りのにも挑戦、おいしく仕上がりました。

